



～10周年記念式典/ 阪井由佳子氏ブログより～

〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町2471-48
電話 045-410-7307 FAX 045-410-7408
E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp
発行責任 善了寺 還る家とともに 担当：三根

平成17年に開所した善了寺デイサービス還る家ともに。お陰さまで6月26日に10周年記念式典を無事に開催し、終える事が出来ました。その際の記念冊子のあとがきにも書かせて頂いたのですが、「自分の評価は他人がするんだ」との往生された方の教えをもとに、今回のニュースは基調講演の講師でお招きした富山型デイサービスにぎやか代表の阪井由佳子さんの記念式典へのブログ記事をそのままに、お伝えさせていただきます。



住職である成田ご夫婦がまだ私の自宅でやっていたころの「にぎやか」におじいちゃん、おばあちゃん子供たち家族全員を引き連れて、「富山型のような場所をつくりたい！」と最初に訪れた日のことをしっかりと覚えています。

写真右から井戸端げんきの伊藤さん（千葉）ひぐらしの家の安西さん（千葉）
お二人も同じ。

「阪井さんの講演を聞いて、これなら私にもできる！！って

阪井さんには失礼だけど、そう思っちゃったのよね～（大笑）」私も
そう思う～笑 かなり富山型や宅老所を増やすことに貢献したと自負
しています。

そして、その方々が苦勞しつつも5年、10年、15年と
記念日を迎え一緒にお祝いできることをすご～く幸せに感じています。



式典 最後の挨拶に涙する還る家ともにスタッフ「ミネ君」



スタッフの芸をうれしそうに眺める
おばあちゃん！！
この方々みんな10年前に
還る家ともにが始まらなかったら



出会うことはなかったかもしれない。

裏面へ続く

毎日の皆さまの感謝の積み重ねが



今日の還る家ともいがある
がだと思いました。



感謝を忘れ、愚痴を言いたくなるときもあります。そう思えば感謝の心にあふれ涙したりするときもあります。

そんな自分も受け入れつつまたこれからも頑張ります。

本当にこのたびはよい機会にお招きありがとうございました。

お陰さまで7月18日月曜日より約2年ぶりにお寺に戻る形で移転する事が出来ました。引っ越しはボランティアの方々をはじめ多くの皆様のお陰で順調に勤める事が出来ました。ありがとうございます。

なお、移転に伴う情報は下記の通りです。

移転日 平成28年7月18日(月)～

移転に伴う臨時休業 平成28年7月14日(木)～16日(土)

移転後の連絡先

住所 横浜市戸塚区矢部町125(戸塚駅東口より徒歩5分)

電話 045-410-7307(今までと同様です)

FAX 045-410-7308(移転に伴い変更となります。7月18日～)

メール mail@zenryouji.jp(今までと同様です)

事業所番号 1471001428(今までと同様です)

利用定員 13名(移転後より3名増員となります。)

移転情報

編集後記

ご門徒有志の皆様4人と一緒に、震災以来4回目の石巻のデイサービスに行きまして。その日お集まりの方々は全員、津波で家が流され避難先から通われている方々でした。大川小学校は、津波で壊された校舎が変わらず建っていました。大川地区の広大な平原は津波が町全体を丸のみにした恐ろしい光景を物語っていました。福島では、放射能の影響で、十ヶ寺の浄土真宗のお寺のうち、三ヶ寺しか還っていない事を仙台別院で聞きました。まだ復興はしていませんでしたが、東北の人は来訪者にいつも暖かくて、来てくれるだけでありがたいと言って気を使ってくれます。その人たちに感動し、愚痴の多い自分の暮らしを見つめ直すご縁となりました。また東北の人達に会いに行きたいです。

坊

ボランティアさん

善了寺に関わってくださっている沢山の方々にデイサービスは日々支えられています。おかげさまで、ご利用者の皆さまと心地よく過ごすことができています。ありがとうございます。

中嶋芳江 中嶋功 安藤信子 竹中秀子
山下トキエ 西岡美都里 朝倉好子
別府与志子 濱崎芳子 市野和歌子
弓削福子 矢口和子 秦野雅子 米村正男
江田峯子 中島雄子 村井ヒテ子 江尻伸子
牛島寛子 橋本淑子 長澤チヨ子 犬塚照夫
松村節子 秦野宣子 梅本忠男 小林ミエ
松田良子 森谷ミヨシ 山田ヒロ子 穴山よしお
乾隆子 内田佐知子 砂川元枝 長岡綾子
吉高友子

敬称略